

自然を たぶわて

ツバメは知っている！



群馬県で「もっとも住みよい町」は、邑楽郡の明和町であると報道されたことがある。利根川からの取水が、邑楽用水に流れるころになると、田植えの近いことを知る。このころになると、町のあちこちの空を猛スピードで、飛び交うツバメの姿が目につく。ツバメは、春になると、フィリピン・ボルネオ・ジャワと5000kmを飛び越えて日本（明和町）に来る。やがて、巣作り、結婚、出産、子育てを終えて、秋には南の島に帰る渡り鳥である。警戒心の強いこの小鳥たちも、明和町が住みよい町であることを知っている！今年も可愛い姿が見られるだろう。

写真・文 山平 薫

編集後記

昭和橋が間もなく竣工を迎えます。慢性的な交通渋滞にはホント泣かされました。昔、舗装補修工事の際、羽生市から90分ぐらい掛かったのを憶えています。朝夕の通勤帯の渋滞が解消されるといいですが。期待！(A) まわりの自然は少しずつ春の装いになってきましたね。ゆとりのない日々が続いていたので、これからはいろいろな場所へ行き、春を感じてみようかな…と思っています。(G)

月日の流れるのは早いですね。子どもは毎日が発見の連続で、始めて見たり聞いたりすることばかり。年を重ねるとつれ、そういった事が少なくなるので、月日が早く感じる。(S)

●広報めいわは、自然保護のため再生紙と大豆油インキを使用し作成しています。